

令和6年10月29日
第八管区海上保安本部
海上保安学校

第八管区海上保安本部・海上保安学校 定例記者懇談会

1 日時

令和6年10月29日（火）午前10時00分から

2 場所

舞鶴港湾合同庁舎2階 第1会議室

3 発表事項

＜第八管区海上保安本部＞

●旅客船事故対応訓練の実施について【警備救難部救難課】

令和6年11月11日（月）、舞鶴港東港前島ふ頭フェリーターミナルにて、舞鶴市消防本部、舞鶴警察署、京都DMAT、新日本海フェリー株式会社、京都府水難救済会舞鶴救難所などが参加し、大型旅客船の乗揚げにより多数の負傷者が発生したとの想定で旅客船事故対応訓練を実施いたします。

●潜水研修候補者の選考会開催について【警備救難部救難課】

令和6年11月29日（金）、海上保安学校にて、令和7年度潜水研修に参加する候補者の選考会を実施いたします。選考会では、泳力測定（300m自由形、25m水平素潜り、耳抜き）、体力測定（1,500m走、50m走、懸垂）を行います。

4 業務説明

＜第八管区海上保安本部＞

●灯台について【交通部企画課】

灯台の役割と歴史について説明し、管内の明治期灯台及び灯台記念日を記念して開催する灯台企画展の紹介をいたします。

令和6年11月業務予定

日	曜	業務内容	備考
		継続	
1	金		上旬 「灯台企画展」(10月31日～11月7日)(舞鶴市立西図書館)
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		
11	月	旅客船事故対応訓練(舞鶴港東港前島ふ頭フェリーターミナル)	中旬
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		下旬
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木	定例記者懇談会(AM)	
29	金	潜水研修候補者の選考会開催(海上保安学校プール及びグラウンド)	
30	土		



【問合せ先】第八管区海上保安本部警備救難部
救難課長 村上 歩
TEL 0773-76-4100 (内線 3250)

令和6年10月29日
第八管区海上保安本部

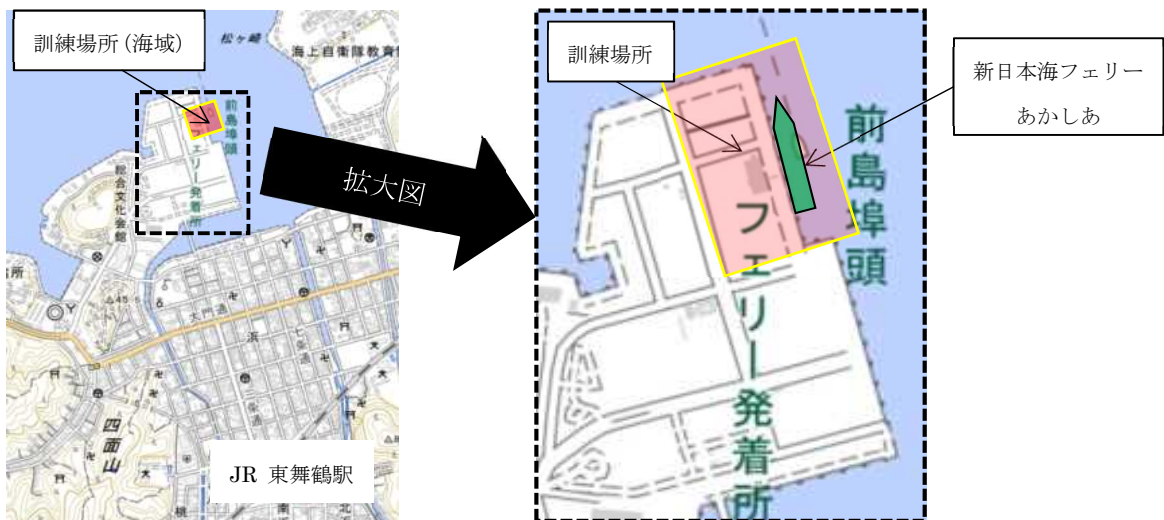
「旅客船事故対応訓練を実施」

～旅客船の安全を確保するために関係機関の連携強化に向けて～

第八管区海上保安本部は、関係機関と連携し、旅客船が舞鶴港内で乗り揚げ、多数の負傷者が発生したとの想定で旅客船事故対応訓練を実施します。

1 日時・場所

令和6年11月11日(月) 午後1時00分から午後4時00分
舞鶴港東港前島ふ頭フェリーターミナル



2 訓練参加機関及び勢力

(1) 海上保安庁

第八管区海上保安本部、舞鶴海上保安部、舞鶴海上保安部巡視艇ゆらかぜ、
敦賀海上保安部巡視船えちぜん、美保航空基地機動救難士ほか

(2) 関係機関

舞鶴市消防本部、舞鶴警察署、舞鶴警察署警備艇ゆら、京都DMAT、
新日本海フェリー株式会社(あかしあ)、京都府水難救済会舞鶴救難所所属船1隻
※ オブザーバー

近畿運輸局京都運輸支局、京都府中丹広域振興局、京都府港湾局、舞鶴市

3 訓練内容

- (1) フェリー会社職員による初動対応訓練
- (2) フェリーへの移乗訓練
- (3) 負傷者のトリアージ及び搬送訓練

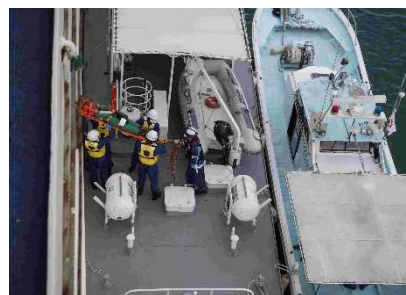
【訓練イメージ】



移乗訓練



船内でのトリアージ訓練



船での負傷者搬送訓練

4 その他

- (1) 事案対応や天候等の理由により、訓練中止または訓練内容を変更することがあります。
- (2) 取材を希望される方は、11月5日（火）午後3時までに第八管区海上保安部警備救難部救難課まで、別紙「取材申込書」の提出をお願いいたします。
取材される方は、当日午後0時30分から午後0時50分の間にフェリーターミナルまでお越しください。
- (3) 水難救済会とは、沿岸海域での遭難者や船舶の救助に駆けつける民間ボランティア団体であり、全国に1324カ所（令和6年3月31日現在）の救難所・支所があります。

「旅客船事故対応訓練」

取材申込書

貴社名

ご氏名	ご連絡先(携帯電話等)

※中止時等にご連絡いたしますので、直接ご本人と連絡の取れるご連絡先をご記入下さい。

質問事項等あればご記入下さい

【送信先】

第八管区海上保安本部 警備救難部 救難課
(FAX 0773-76-4479)

※11月5日(火)午後3時までにご連絡下さい。



【問合せ先】第八管区海上保安本部警備救難部
救難課長 村上 歩
TEL 0773-76-4100 (内線 3250)

令和6年10月29日
第八管区海上保安本部

「潜水士への道」

～潜水研修候補者の選考会開催について～

令和7年度海上保安大学校で実施される潜水研修に参加を希望する職員が、選考会に挑みます。

1 実施日時及び内容について

令和6年11月29日(金)

- ・泳力、体力測定：午前8時45分から午後1時00分
(場所：海上保安学校プール及びグラウンド)

2 実施種目について

(1) 泳力測定(3種目) 海上保安学校プール

- ① 300m自由形
- ② 25m水平素潜り
- ③ 耳抜き

(2) 体力測定(3種目) 海上保安学校グラウンド

- ① 1,500m走
- ② 50m走
- ③ 懸垂

【泳力・体力測定イメージ】



300m自由形



1,500m走



懸垂

3 取材について

次のとおり取材の対応をいたしますので、取材を希望される方は、11月22日（金）午後3時00分までに別添の取材申込票により申し込みをお願いします。
(希望される方に対し、静止画、動画の提供も行います。)

日 時：11月29日（金）午前8時45分から午後1時00分

場 所：海上保安学校プール及びグラウンド

【※取材される方は、当日午前8時20分から午前8時40分の間に海上保安学校（正門前）にお越し下さい。お車でお越しの際は、正門を通過した辺りで係の者が案内します。】

4 その他

本訓練の画像及び映像を希望される方は、下記アドレス宛

【件名】（社名・支局名）動画提供希望

【本文】ご担当者様及びご連絡先

をご記載のうえ、ご連絡願います。

（※動画等をご使用される際は、「第八管区海上保安本部提供」と記載いただくようお願い致します。）

《アドレス（全て半角英数字）》

jcg8-kouhou1@mlit.go.jp

(ジ ェ ー シ ー ジ ー ー 8 ケ ー オ ー ユ ー イ チ オ ー ユ ー 1 ア ッ マ ー ク
・ イ ー ー イ ー テ ー ・ ド ッ ト ・ ジ ー ・ オ ー ・ ド ッ ト ・ ジ ー ・ ピ ー)

5 参考情報

(1) 潜水士とは

海上における行方不明、船舶の転覆若しくは沈没等の海難事故に際し、水中での捜索や転覆した船内からの救出等、困難な環境下での救助活動を行うため、全国22隻の巡視船艇に配置されています。

第八管区海上保安本部においては、境海上保安部巡視船おき及び敦賀海上保安部巡視船えちぜんの2隻に潜水士が配置されております。

(2) 潜水研修とは（正式名称：研修科潜水技術課程）

広島県呉市にある海上保安大学校において、約2ヶ月間にわたり行われる研修であり、潜水士として必要な基本的な知識、技能の修得に続き、転覆船内での救助活動など、実際の海難現場に即した内容の訓練が行われ、この課程を修了した者だけが潜水士になれます。

「潜水研修候補者選考会」

取材申込書

貴社名

ご氏名	ご連絡先(携帯電話等)

※中止時等にご連絡いたしますので、直接ご本人と連絡のとれるご連絡先をご記入下さい。

質問事項等あればご記入下さい

【送信先】

第八管区海上保安本部 警備救難部 救難課
(FAX 0773-76-4479)

※11月22日(金)午後3時00分までにご連絡下さい。